

平成 28 年 / 月 28 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業 事業報告書

1 事業者名

佃 梓 央

共同事業者名（あれば記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

上町台地の煎茶文人文化 伝承と発信

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	
8月	8/31 シンポジウム
9月	9/14-26 体験ワークショップ
10月	10/11 体験ワークショップ 10/31 登録有形文化財茶室公開
11月	11/7 登録有形文化財茶室公開 11/14-20-25 体験ワークショップ
12月	12/10-11 体験ワークショップ

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムでは、煎茶・文人の文化の本質にせまる議論ができ、参加者の心も共有できた。パネラーの先生のお話は大変深く、日本文化の伝承ということまで話題が広がった。 ・体験ワークショップでは、掛軸を通して話題を広げるサロンを体験していただいた。煎茶文人文化の楽しみ方が伝わったと思われる。 ・茶室公開は、お茶の道にきていただき、煎茶の茶室の特徴を伝えられたように思う。
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶文化の歴史を正しく伝え、正しい理解の下に広がっていくことを期待する。 ・今後も体験ワークショップを通して、中国にはじまった喫茶文化を大阪の人から受け取ったか、若い世代を中心に伝えていきたい。 ・今回の一連の企画で培ったノウハウを生かし、今後も茶室の一般公開を積極的に行いたい。

5 事業の総参加人数

.....252.....名	両方で174名
(内訳：地区内から参加.....78.....名・地区外から参加.....名・不明.....名)	
その他、年齢別など詳しく内訳がわかれば記入してください。 (例：30代から40代が6割程度、など)	

※「5 事業の総参加人数」は外部へは公表しません。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 27 年 9 月 15 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業 事業報告書

1 事業者名

NPO（非営利活動団体）OSAKA ゆめネット

共同事業者名（あれば記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

難波宮で学ぶ！ 遊ぶ！ 体験する！

難波宮フェスタ 2015

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	企画会議3回、説明会1回、開催7月26日
8月	反省会、報告書作り
9月	報告書送付、提出
10月	
11月	
12月	

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	<p>大阪歴史博物館や NHK 大阪放送局、地域の NPO 等が連携し、文化資源が集積する難波宮の歴史を学んだ。午後は参加型、ワークショップ形式を取り入れ、大人も子どもも楽しく学び、ふれあい、周辺地域や歴史ファンのつながりが深まり、難波宮の知識が深まったことがアンケート調査でも明らかとなった。来場者は 2,484 名と多くの方々に参加いただいた。</p>
今後の展望	<p>今年は第 9 回を迎え、今後も毎年継続し定着を目指す。また、大阪で活躍する多くの団体に参加を呼びかけ、新しい枠組みの仲間作りと交流に寄与したいと考えている。</p> <p>参加型、ワークショップ形式をとり、大人、子どもの世代間交流と、地域社会全体へ貢献していきたい。</p>

5 事業の総参加人数

2,484 名

(内訳：地区内から参加 139名・地区外から参加 116名・不明 13名)
アンケート回収数 268名より

その他、年齢別など詳しく内訳がわかれば記入してください。

(例：30代から40代が6割程度、など)

10代 10.8% 20代 7.6% 30代 8.6% 40代 11.2%

50代 12.6% 60代 25.7% 70代 18.1% 80代 5.0%

※「5 事業の総参加人数」は外部へは公表しません。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 27 年 1 月 25 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業 事業報告書

1 事業者名

小野 千佐子

共同事業者名（あれば記入してください）

くる～ず味原

2 事業のテーマ・タイトル

味原町PRプロジェクト～あじはら一箱古本市～

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	
8月	
9月	あじはら一箱古本市
10月	あじはら一箱古本市ニュースレター発行
11月	味原マップづくり（オープン台地プログラムの一つとして）
12月	味原マップ印刷

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	<p>参加者には、これまで知らなかった、あるいは通り過ぎるだけだったまちが、「味原町」と認識してもらうことができた。マップづくりでは、参加者の多様な視点からまちを観察することができ、一見すると見落としてしまうようなことが、まちの個性になると理解できた。</p> <p>また、味原町に暮らす人にとっても、まちを知るチャンスとなり、新たなつながりが生まれた。</p>
今後の展望	<p>あじはら一箱古本市やマップづくりで生まれたネットワークをさらに活用して、暮らしやすいまちとしての「味原町」を多様な視点で実感してもらいたい。そのために、地域内も地域外の人と共に楽しむ、仕掛けとなる様なイベントを小規模でもたくさんつくっていきたい。</p>

5 事業の総参加人数

約 300 名

(内訳：地区内から参加 80 名・地区外から参加 50 名・不明 170 名)

その他、年齢別など詳しく内訳がわかれば記入してください。

(例：30代から40代が6割程度、など)

未就学児 2割程度、30代～40代が5割程度で、親子での参加が多かった。

※「5 事業の総参加人数」は外部へは公表しません。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業 事業報告書

1 事業者名

NPO 法人まち・すまいづくり

共同事業者名（あれば記入してください）

--

2 事業のテーマ・タイトル

上町台地における地域コンサートの開催

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	演奏者・会場との調整
8月	第一回コンサートの演奏者・会場決定
9月	第一回コンサートの広報デザイン、 第二回コンサートの演奏者・会場決定
10月	第一回コンサートのチラシ配布・申込受付、 第二回コンサートの広報デザイン
11月	第一回コンサートの申込受付・開催 第二回コンサートのチラシ配布・申込受付
12月	第二回コンサートの申込受付・開催

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	<p>第一回コンサートにおいては、喫茶店で行うことでアットホームな雰囲気の中で音楽を楽しんでいただけた。第二回コンサートは天王寺区にできた音楽団体の初の本格的なコンサートということもあり、お披露目のような役割も果たすことができた。</p> <p>どちらも地域の方々に音楽を楽しんでいただくと同時に、住民同志の交流の場としての役割も付与することができたと思う。</p>
今後の展望	<p>定期的に地域の中でのコンサートを続けることが、上町台地においてコンサートを行いたい、聞きたいといった人々が増えることにつながるように思われる。またそこから地域住民相互の交流が生まれることを期待し、観客人数や場所にこだわらない、様々な人々が集えるコンサートを今後とも開催していきます。</p>

5 事業の総参加人数

170 名（第一回コンサート26名、第二回コンサート124名）
（内訳：地区内から参加 90名・地区外から参加 50名・不明 30名）

その他、年齢別など詳しく内訳がわかれば記入してください。

（例：30代から40代が6割程度、など）

50代から60代が7割程度、30代から40代が2割程度

※「5 事業の総参加人数」は外部へは公表しません。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 28 年 1 月 31 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業 事業報告書

1 事業者名

應典院寺町倶楽部

共同事業者名（あれば記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

世代間をつなぐ「子どもアート」プロジェクト2015～多様な表現形態から～

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	キッズ・ミート・アートチラシ作成と配布・広報ツールの確立
8月	キッズ・ミート・アートの準備と本番実施
9月	キッズ・ミート・アート振り返り会議・評価
10月	キッズ・ミート・アートの報告書作成準備
11月	キッズ・ミート・アート報告書完成・15日に振り返りの会実施。
12月	キッズ・ミート・アート報告書関係者への発送

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果

14のプログラム、500名以上の参加者が集う、子どもとおとなが多様なアートの活動に参加してもらう祭典となりました。いつも出逢う「芸術」「美術」「アート」ではなく、ちょっとした〈ひねり〉やくずらしを加えることで、世代間の違いから立ち上がってくる新しい感覚やみずみずしい表現を大事にする表現と気づきの祭典（フェスティバル）とします。伝書鳩を飛ばしてみる、五線譜にない創作音楽、墨と絵巻での絵画、水の彫刻、透明の水での書道、下に向いている指人形、作曲家の性格を知るピアノコンサート、台詞に焦点をおいた演劇、お寺の楽器と声明、絵本による哲学対話、飛べない伝書鳩について考えるワークショップなど、乳児から小学生の子どもたちを中心とし、中高生や大学生はボランティアとして、おとうさんやおかあさん、おじいちゃんおばあちゃんまでも、子どもたちと一緒に体験できる場を創出しました。また、独身の方たちの単独参加も多くあり、世代間の対話や共感をよびプログ

	ラムとなりました。
今後の展望	今回、参加者の方の希望や子どもたちの様子なども観察をして、大切な部分を記録し、言葉化する作業を一步進めました。振り返りとして、11月15日に講師や参加者を中心とする会を開催したり、「哲学対話」のプログラムの面白さをさらに深める砂場のワークショップをフリンジ企画として10月17日に行うなど、更なる世代間や異なる領域同士をつなげる橋渡し役として、当倶楽部が果たす役割を広げていきたいと思ひます。

5 事業の総参加人数

<p>.....512.....名 (内訳：地区内から参加 約200名・地区外から参加 約200名・不明100名)</p>
<p>その他、年齢別など詳しく内訳がわかれば記入してください。 (例：30代から40代が6割程度、など) 30代~40代と子ども連れが6割、高校生から20代が2割、40代以上が2割。...</p>

※「5 事業の総参加人数」は外部へは公表しません。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。